

(倫理様式 2-2-1)

後方循環系脳卒中の Scale for the Assessment and Rating of Ataxia と ADL 能力との関連性

1. 研究の対象

令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 12 月 31 日の間、当院回復期リハビリテーション（リハ）病棟に入退棟した全初発脳卒中患者のうち、後方循環系（後頭葉や脳幹、小脳など）に病変を有し、病前の日常生活活動（ADL）が自立していた全症例。

2. 研究目的・方法

回復期リハ病棟に求められるのは、ADL 能力を向上させ、在宅復帰を促進することです。脳卒中片麻痺患者における ADL 能力向上の関連要因は多く検討されていますが、後方循環系に病変を有し、姿勢安定性や四肢協調性の低下を呈する脳卒中患者に対する ADL 能力向上の関連要因は十分に検討されていません。

今回、姿勢安定性や四肢協調性などを包括的に評価する指標である Scale for the Assessment and Rating of Ataxia（SARA）という指標を用いて、回復期リハ病棟における後方循環系に病変を有する脳卒中患者の ADL 能力向上の関連要因を検討します。

リハビリテーション部では、当院の回復期リハ病棟に入棟し、リハを提供された全ての脳卒中患者に関しデータベースを作成しています。今回の調査では、このデータベースおよび診療録、診療記録を用い、分析を行います。

本研究は、倫理審査委員会の承認後から令和 9 年 3 月 31 日までの間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、疾患名、病変部位、回復期リハ病棟在棟日数、入棟時・退棟時 ADL 能力、SARA 評価点数 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(倫理様式 2-2-1)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院

リハビリテーション部 研究責任者 嶋崎 健一

住 所：群馬県伊勢崎市太田町366

TEL：0270-24-3355 FAX：0270-24-3359